



-こけし店
-こけし工房
-こけし写真スポット
-旅館・ホテル

みやぎ 鳴子温泉 こけし まっぷ



④こけしの姿④
『ねまりこ』...座っている姿の名称です。
座ることを東北では「ねまる」といいます。
正座しているので下がぶくくりしています。
『たちこ』...立った姿の名称です。

④こけしの材料④
ミズキ、エンジュ、サクラの木などがあります。
鳴子のこけしはミズキを使うことが多いです。



こけし店・工房

① こけしの岡仁

岡崎 靖男
 鳴子温泉新屋敷51
 0229-83-4051
 0229-83-4051
 不定休
 9:00～18:00
 okazin@hb.tp1.jp
 http://w01.tp1.jp/~a510276881/

② 大沼力こけし工房

大沼 秀則
 鳴子温泉新屋敷103-6
 0229-83-3525
 0229-83-3525
 不定休
 要問合せ

③ 大沼こけし店

大沼 秀顯
 鳴子温泉湯元93-1
 0229-83-3163
 0229-83-3163
 不定休
 8:00～20:00

④ 岡崎斉の店

岡崎 斉一
 鳴子温泉湯元96
 0229-83-3153
 0229-83-3153
 不定休
 7:30～21:30

⑤ 高亀こけし店

高橋 武俊
 鳴子温泉湯元88
 0229-83-3431
 0229-83-3431
 不定休
 7:30～21:00

⑥ 須貝こけし工房

須貝 國男
 鳴子温泉古戸前132-317
 0229-83-4457
 0229-83-4254
 不定休
 要問合せ

⑦ 柿澤こけし店

柿澤 是伸／柿澤 真理子
 鳴子温泉古戸前132-67
 0229-83-2495
 0229-83-2495
 不定休
 9:00～17:00
 kakizawa_narugo@yahoo.co.jp
 http://cactus.44423.jp/kakizawakokeshi/

⑧ 吉田こけし工房

吉田 勝範
 鳴子温泉古戸前132-65
 0229-83-2289
 0229-83-2289
 不定休
 要問合せ

⑨ 高橋正吾こけし工房

高橋 正吾
 鳴子温泉古戸前132-42
 0229-83-3951

 日曜日・不定休
 9:00～15:00（要問合せ）

アイコン説明

- 工人名
- 住所
- 電話番号
- FAX番号
- 定休日
- 営業時間
- Eメールアドレス
- ホームページ
- 絵付体験可

⑩ 早坂こけし店

早坂 利成
 鳴子温泉湯元26-18
 0229-83-2548
 0229-83-2548
 不定休
 7:00～18:00

⑪ 岸こけし店

鳴子温泉湯元24-1
 0229-83-2555
 0229-83-2555
 不定休
 8:00～18:00

⑫ 桜井こけし店

桜井 昭寛／桜井 尚道
 鳴子温泉湯元26
 0229-87-3575
 0229-87-3575
 不定休
 9:00～18:00
 mail@sakuraikokeshiten.com
 https://www.sakuraikokeshiten.com/

⑬ 熊谷こけし製作所

熊谷 正
 0229-83-2208

⑭ こけしの店佐藤

佐藤 俊夫
 0229-83-2644

⑮ 鈴木こけし製作所

鈴木 俊幸
 0229-83-3240

⑯ 岩下こけし資料館

遊佐 妙子
 鳴子温泉古戸前80
 0229-83-3725
 0229-83-2666
 無休
 8:30～17:30
 info@iwashita.info
 https://www.iwashita.info/

⑰ 松田工房

松田 忠雄／松田 大弘／松田 真澄
 鳴子温泉上鳴子126-10
 0229-83-3573
 0229-83-3776
 不定休
 8:00～17:00
 matsuda-kokeshi@smilebb.jp
 https://matuda.shop-pro.jp/

⑱ こけしの菅原屋

菅原 昌秀
 鳴子温泉上鳴子135
 0229-83-3664
 0229-83-3670
 不定休
 8:00～16:30
 kokeshi@vega.ne.jp
 http://www.vega.ne.jp/~kokeshi/

⑲ 日本こけし館

鳴子温泉尿前74-2
 0229-83-3600
 0229-82-2589
 1月1日～3月31日
 8:30～17:00（4～11月）
9:00～16:00（12月）
 info@kokesikan.com
 http://www.kokesikan.com/

入館料（円） ※幼児無料			
	大人	高中学生	小学生
個人	400	160	120
団体 （20名以上）	320	130	100

『こけし』の歴史

あづまのくにのり
これたかしん
 近江国蛭谷（現：滋賀県東近江市）で
 惟喬親王が承和11年（844年）に木工技
 術「ろくろ」を伝えたのが木地師のはじま
 りであると伝えられています。
 江戸時代末期文化文政（1804～1
 830年）の頃、木地師たちがろくろを使っ
 て木製の道具（お椀、お皿、お盆など）を
 制作していました。
 諸説あるようですが、東北にきた木地師
 が子供に木の人形を作ったのが始まりとさ
 れていて、温泉に湯治に来ていた人達がお
 土産に木の人形を購入し、こけしは子供の
 遊び道具として広まっていきました。

『こけし』はお祝い人形

こけしは子供の健康と成長を祝う人形で、
 こけしの頭に描かれている赤い模様は「水
 引手」といい、京都の「御所人形」に発し
 ていて、お祝い人形として創案されました。
 この模様を導入したこけしは幕末期（1
 862年）の記録には子供の手遊びの「木
 地人形・こふけし（こけし）」と記されて
 います。「こけし」とは「子授けし」を意
 味したものだと言われています。

『こけし』の名前の由来

東北各地に伝わる木地人形の「こけし」は、
 地方によって「きぼ」「けい」「けん」「げん」
 「こけし」などと様々な名称で呼ばれ、こ
 けしの話をする時などたいへんでした。
 昭和15年（1940年）鳴子温泉で「東
 京こけし会鳴子大会」が開催され、こけし
 工人・関係者が集まり「こけし」とひらが
 な三文字に統一されました。

『鳴子こけし』の特徴

鳴子こけしは首が鳴ります。首がはめ込
 み式になっているためです。胴と頭をつなげ
 る時、ろくろを回し摩擦熱で入れています。

『こけし』のお手入れ方法

時々ほこりを払い、乾いた布で拭いてあげ
 ましょう。こけしは陽に当たると色が褪せて
 しまいます。直射日光が当たらない場所、湿
 気や温度変化のないところに飾りましょう。
 また、触れる時は乾いた手で触りましょう。

『全国こけし祭り』

例年9月第一土曜日・日曜日（金曜日は
 こけし供養祭）に開催されています。日
 本各地の伝統こけしが勢揃いする「全国こ
 けし祭り」はこけし供養祭、こけし奉納式、
 こけし祭りコンクール、各産地の伝統こけ
 しの制作実演展示販売、こけしの絵付け体
 験、シールドハリボテこけしのパレードな
 ど、こけしに関するイベントが盛りだくさん。
 温泉街がこけしづくしになる3日間です！

『こけしの絵付け』体験してみませんか？

こけしの絵付け体験ができる工房もいく
 つかあります。世界でひとつの自分だけの
 オリジナルこけしを作ってみませんか？

*家族経営のお店や工房が多いので、
 お店・工房めぐりの際は事前にお問合
 せください。